※文字の大きさは Meiryo UI ／12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、（写真 1）（表 1）などと文中に記載し、右ページに（写真 1）（表 1）などと表記の上、貼り付けてください。
※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
※いずれの場合も、必ずＡ３片面１枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは５MB 以下としてください。

※事務局記入欄
No. 114

【様式２】

エントリー学校名：山梨県　富士吉田市立　吉田小学校

活動名：　働き方改革は学び方改革
～カエル会議で学校をカエル！！～

解決すべき課題：

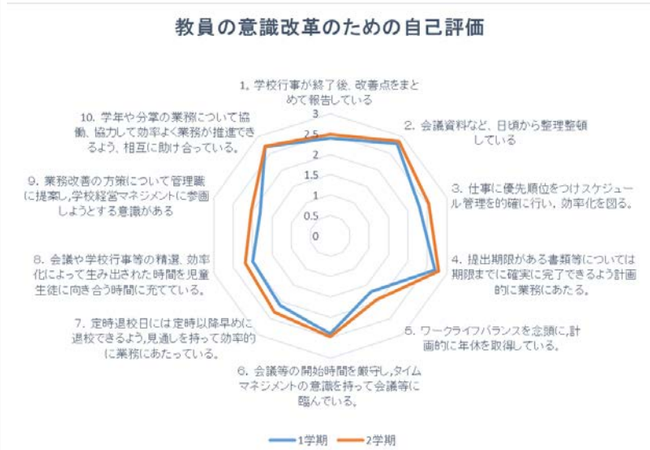
本校は,児童数 600 人以上の大規模校である。職員は,児童の指導,学校行事,各種会議に追われている。また,様々な特性のある児童がおり,様々な家庭環境の児童がいる中,学習指導,生徒指導,保護者対応等業務が多岐に渡っている。そのため，職員の超過勤務が常態化しており,職員の心身の健康が心配である。山梨県教育委員会から出されている「働き方改革」の指針を意識した取組が必要だと考える。また平成 30 年度よりコミュニティスクールとして学校運営協議会を設置しているが，地域や保護者との連携をさらに進める必要があると感じている。

目標・方針：〔早くカエル〕職員の心身の健康が保たれ学級経営にもよい影響を与えるであろう。
〔意識をカエル〕職員の W・L・B を保つことで，質の高い教育を行うことができるであろう。
〔仕事のやり方をカエル〕アイデアを出し合い，学び合うことで，子供たちが笑顔で授業を受けることができ，それにより，保護者の理解を得やすくなるであろう。

活動内容：山梨県「教員の多忙化改善に向けた取組方針」に基づく従来の取組の強化：意識改革のための自己評価を行い現状把握し取組内容を決定(整理整頓・会議時間の縮減・人事評価など)
カエル会議：主任を取組の中心に置き，学年での課題を出し合い，より実効性のある取組内容にしたり，行事や教育活動の見直しをしたりする。
カエル通信の活用：カエル会議の内容の共通理解・情報発信（アイデアの共有）
C.S としての取組：各学年，担当で行っていた保護者支援の募集を，C.S 担当が一括して行い業務の煩雑さを軽減する。

活動の成果：
〔早くカエル取組〕7 月に学年ごとの一斉退勤日を設定　　・早くカエル日（水曜日）の設定
〔意識をカエル取組〕出退勤記録により自身の働き方を振り返ることができた。2 学期には計画年休取得の取組を行っている。「カエル通信」による情報発信を行い，働き方改革が意識化された。
〔仕事のやり方をカエル〕業務改善アイデアを募集し「カエル通信」で共有するとともに，校内研修等で学び合えるようになった。教師の姿は子供にとってロールモデルだという意識を持ち，タイムマネジメントができるように取り組んでいる。

アピールポイント（アイディアや工夫）：
・業務改善の具体的な取組を「見える化」することで意識の向上につながっている。
・業務改善アイデアを募集し，「カエル通信」で共有することで，ベテランの先生から若手の先生への知識や技術が伝達できたり，若い先生方から新しい情報が得られたりする。
・カエル会議を行うことで，各学年の現状に会わせた内容となり，取組が自分事として考えることができている。

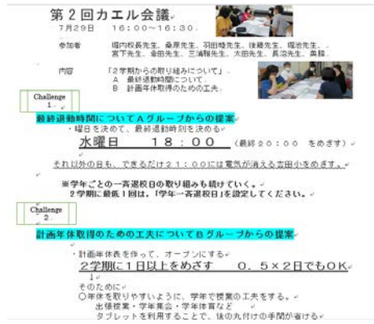


山梨県多忙化改善に向けた取組方針の p19「自己評価リスト」を活用しした。1 学期の取組により、意識が多少改善されているが，まだまだ改善の余地がある。

アンケート結果から、改善点を模索し取組の重点とした。
２より　会議時間の縮減
５より　計画年休の取組
９より　業務改善のアイデアの募集

カエル会議

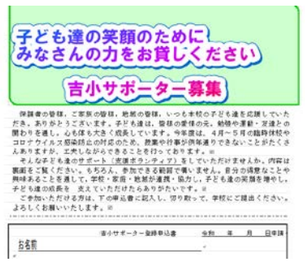
←第１回カエル会議
「どんな学級にしたい？」
「めざす学校像」
第２回カエル会議→
２学期からの取組
・最終退勤時刻の設定
・計画年休の取組



※第１回カエル会議で「学年ごとなら一斉退校日を設定できるのでは？」と意見が出され，７月に学年毎に設定した。

カエル通信

吉小サポーター



家庭科サポーターの様子

現在、保護者や地域の方が 16 人登録してくださっている。